

当院では、保管する下記の診療情報を下記研究機関に対して提供しています。  
研究概要は以下のとおりです。

#### 【研究課題名】

神奈川県における小児RSウイルス感染症入院症例の全県疫学調査（2023-2025年）

#### 【目的】

RSウイルスは、特に基礎疾患のある乳幼児において重症化リスクが高い普遍的な呼吸器感染症ウイルスです。重症化予防のために、従来は流行期間中に毎月投与が必要なパリビズマブが唯一の選択肢でしたが、2024年からは長時間作用型で単回投与が可能なニルセビマブが新たに選択肢に加わりました。しかし、両薬剤の保険適応には差異があり、またニルセビマブ投与150日以降の臨床効果については明らかになっていません。本研究は、モノクローナル抗体製剤の適応となる児におけるRSウイルス入院の実態を明らかにし、神奈川県の流行疫学を踏まえた最適なモノクローナル抗体製剤の投与時期や適応を決定することを目的としています。

#### 【対象】

2023年1月から2025年12月までに当院に入院したRSウイルス感染症確定の方

#### 【方法】

レセプトデータベースから後方視的にRSウイルス入院患者さんの月別症例数やモノクローナル抗体製剤の投与実績などのデータを収集します。また、モノクローナル抗体製剤適応児のRSウイルス入院症例については、投与時期や重症度などの情報を電子カルテから後方視的に抽出します。収集されたデータは、研究代表者へ送付され、解析・集計されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

#### 【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

#### 【利用する試料・情報】

診療情報：出生年月日、在胎週数、出生体重、母および児のRSウイルス感染症予防投与状況、RSウイルス感染による入院時の治療内容、転帰等  
利用開始日：2026年4月～

#### 【研究期間】

臨床研究審査委員会の承認が得られてから2026年12月

#### 【研究代表者】

藤沢市民病院 臨床検査科 清水 博之

#### 【当院の責任者】

横浜市立市民病院 小児科 松崎 陽平

#### 【試料・情報の管理責任者】

横浜市立市民病院 病院長 長谷川 直樹

#### 【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1  
電話 045-316-4580（病院代表） 小児科 松崎 陽平

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。

また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。